

- 問1 ある地方の農業統計において、耕地面積が約45,000ヘクタールであるのに対し、そのうち田の面積が40,000ヘクタールを超えており、田の割合が8割を大きく上回っていることが示されています。このような特徴を持つ「あ」にあてはまる県として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 宮崎県 2. 長野県 3. 静岡県 4. 新潟県
- 問2 日本列島のほぼ中央に位置し、太平洋に面した静岡県において、富士山周辺の豊かな湧水や河川水などの豊富な水資源を活用して発達した、出荷額が全国1位を誇る工業の種類を選びなさい。
(2023年 三重県公立入試 類似)
1. 製紙・パルプ工業 2. 金属加工業 3. 精密機械工業 4. 繊維工業
- 問3 夏でも涼しい高冷地の気候を利用した抑制栽培が盛んで、長野県が全国トップクラスの生産量を誇る野菜として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。
(2026年 熊本県公立入試 類似)
1. トマト 2. キャベツ 3. きゅうり 4. レタス
- 問4 日本の都道府県別のお茶の生産量に関する統計において、国内生産量の約四割（39.6%）を占め、全国一位となっている都道府県はどこですか。
(2017年 高知県公立入試 類似)
1. 三重県 2. 静岡県 3. 鹿児島県 4. 京都府
- 問5 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。
(2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
2. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。
3. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。
4. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。
- 問6 本州の中央部に位置し、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という標高3000m級の険しい山々が連なっている地域は、「日本の屋根」とも呼ばれています。これら3つの山脈の総称は何ですか。
(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 奥羽山脈 2. 関東山地 3. 日本アルプス 4. 越後山脈
- 問7 北陸地方の各県の位置関係と交通網の整備について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。北陸新幹線のルートにおいて、石川県の金沢駅からさらに西側の日本海沿いに進んだ地点に位置し、2024年3月に新幹線の延伸区間が開業した県を選びなさい。
(2016年 長野県公立入試 類似)
1. 富山県 2. 新潟県 3. 滋賀県 4. 福井県
- 問8 中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。
(2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 長野県 2. 福井県 3. 石川県 4. 富山県
- 問9 日本の諸地域の産業と貿易港の関係について述べた文章のうち、名古屋港の特徴を正しく説明しているものを選んでください。
(2026年 北海道公立入試 類似)
1. 首都圏に位置する貿易の拠点で、輸出額では自動車が入位に入るが、輸入額が輸出額を上回っており、電子機器の輸入も多い。
2. 航空貨物の取扱額が日本一の拠点で、IC（集積回路）や医薬品などの、軽量で高価な製品の輸出に特化している。
3. 鉄鋼業や化学工業などの基礎素材産業の拠点として発展したため、鉄鋼製品の輸出が過半数を占め、原料の輸入も盛んである。
4. 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。
- 問10 長野県などの高冷地では、夏でも涼しい気候をいかしてレタスなどの野菜を栽培し、東京などの大都市へ出荷しています。このような農業の仕組みとその利点について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 広大な平坦地をいかし、大型の機械を導入して生産コストを下げ、大量の野菜を安定的に供給する土地利用型農業が行われている。
2. 大消費地に近い立地をいかし、収穫したばかりの新鮮な野菜を輸送費を抑えて市場へ届ける近郊農業が行われている。
3. 冬でも温暖な気候をいかし、他の地域よりも収穫時期を早めて、高い価格で販売する促成栽培が行われている。
4. 標高が高い地域の冷涼な気候をいかし、平地の産地が品薄になる夏に時期をずらして出荷する抑制栽培が行われている。
- 問11 岐阜県の白川郷などの豪雪地帯で見られる、屋根の傾斜が非常に急な「合掌造り」と呼ばれる伝統的な住居について、このような構造にしている目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2017年 広島県公立入試 類似)
1. 床を高くして地面からの熱を遮断し、冬場の室温を一定に保つため。
2. 積雪の重みによって家屋が損壊するのを防ぐため、雪を地面へ滑り落ちやすくするため。
3. 屋根の面積を広げることで、雨水を蓄えて生活用水として利用するため。
4. 夏場の風通しを良くして、家の中の湿気を効率的に逃がすため。
- 問12 2023年度の統計において、発電電力量が多い上位4県を岐阜県、富山県、新潟県、長野県といった中部地方の県が独占している発電方式について、その特徴として適切な記述を選んでください。
(2026年 北海道公立入試 類似)
1. 天候に左右されやすく、夜間や無風の状態で発電が不可能になるという課題がある。
2. ウランを燃料として利用し、一度の発電で大量の電力を安定して供給できるが放射性廃棄物が出る。
3. 石炭や天然ガスなどの化石燃料を燃焼させて蒸気を作り、タービンを回して発電する。
4. 二酸化炭素を排出せずに繰り返し利用できる、再生可能エネルギーの一つに位置づけられる。
- 問13 中央高地の気候において、年間の降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きくなる理由として最も適切な説明はどれですか。
(2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 北西の季節風が日本海から水分を運んでくるが、高い山脈を越える際に雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため
2. 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気がさえぎられるとともに、内陸のため海洋の影響を受けにくい
3. 暖流の影響を強く受ける地域であり、夏は高温多湿になるが、冬は乾いた季節風の影響を強く受けるため
4. 標高が非常に高いため、年間を通じて気温が低く抑えられ、上昇気流が発生しにくく雨が降らないため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 新潟県	耕地面積に占める田の割合が80%を超えるのは、北陸地方の県に顕著な特徴です。新潟県は日本最大の米の生産地であり、広大な越後平野を中心に大規模な稲作が行われています。選択肢の中で北陸地方に属し、かつ耕地面積に占める田の割合が極めて高い条件を満たすのは新潟県です。一方、長野県や静岡県、宮崎県などは、地形や気候を活かした果樹栽培や施設園芸も盛んであり、新潟県ほど田の割合が突出して高くはありません。
問2	答え 1 製紙・パルプ工業	紙の製造工程では、原料の洗浄やパルプの希釈、冷却などのために大量の清浄な水を必要とします。静岡県は富士山からの豊かな湧水や河川水が得られるという地理的条件に恵まれていたため、古くからこの工業が発達し、日本一の出荷額を維持しています。
問3	答え 4 レタス	長野県などの高冷地では、夏の涼しい気候を生かして出荷時期を遅らせるレタスの抑制栽培が盛んに行われています。
問4	答え 2 静岡県	静岡県は、全国の茶の生産シェアの約四割を占める日本一の産地です。二〇一四年の統計データでは、一位の静岡県に次いで二位が鹿児島県（29.4%）、三位が三重県（8.1%）、四位が宮崎県（4.6%）となっており、静岡県が圧倒的なシェアを誇っています。牧之原台地などの広大な土地を利用した栽培が古くから盛んです。
問5	答え 1 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。	北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要な大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。
問6	答え 3 日本アルプス	本州中央部にそびえる飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、その険しい景観がヨーロッパのアルプス山脈に似ていることから、総称して日本アルプスと呼ばれています。これらはフォッサマグナの西側に位置し、3000m級的高峰が連なっています。
問7	答え 4 福井県	北陸地方は東から順に新潟県、富山県、石川県、福井県の4県で構成されています。北陸新幹線は、2015年に長野駅から金沢駅（石川県）まで開業し、2024年3月にはさらに西側の福井県内（敦賀駅まで）が延伸開業しました。富山県や新潟県は石川県よりも東側に位置するため、金沢より西側に位置するという説明には当てはまりません。
問8	答え 3 石川県	中部地方の中でも北陸地方に位置する石川県は、特定の産業に特化した中京工業地帯の県とは異なり、電子部品や機械、食料品などがバランスよく生産されているのが特徴です。また、伝統的工芸品から発展した機械工業や、良質な水を活用した食料品製造も盛んに行われています。
問9	答え 4 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。	名古屋港の最大の特徴は、背後に控える中京工業地帯、特に愛知県内の自動車産業との密接な結びつきです。完成した自動車だけでなく、その部品やエンジン（内燃機関）といった関連製品を合わせると、輸出全体の約4割に達します。このような特定の産業に特化した大規模な輸出構造が、日本一の貿易額を支える要因となっています。
問10	答え 4 標高が高い地域の冷涼な気候をいかし、平地の産地が品薄になる夏に時期をずらして出荷する抑制栽培が行われている。	長野県の高原地帯で行われているレタス栽培は、標高の高さによる夏の涼しさを利用した「抑制栽培」の代表例です。平地では気温が高すぎて野菜の生産が難しい夏から秋にかけて収穫・出荷することで、他の産地との競争を避け、有利に販売することができます。これに対し、暖かい気候を利用して時期を早めるのは「促成栽培」、都市の近くで行うのは「近郊農業」であり、それぞれ仕組みが異なります。
問11	答え 2 積雪の重みによって家屋が損壊するのを防ぐため、雪を地面へ滑り落ちやすくするため。	岐阜県などの豪雪地帯では、冬に大量の積雪があります。湿り気を含んだ雪は非常に重いため、屋根に積もり続けると家を押しつぶしてしまう危険があります。そこで、屋根の傾斜を三角形のように急にすることで、雪が自重で地面へ滑り落ちるように設計されました。これにより、過酷な自然環境の中でも家屋の損壊を防ぎ、生活を守る工夫がなされています。
問12	答え 4 二酸化炭素を排出せずに繰り返し利用できる、再生可能エネルギーの一つに位置づけられる。	水力発電は、自然界に存在する水の循環を利用して発電するため、石油や石炭などの化石燃料を消費しません。そのため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO2）をほとんど排出せず、永続的に利用可能な「再生可能エネルギー」として、環境負荷の低い重要な電源となっています。
問13	答え 2 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気がさえぎられるとともに、内陸のため海洋の影響を受けにくい	中央高地は四方を山々に囲まれた盆地状の地形が多く、海から吹いてくる湿った風が山を越える際に斜面で雨を降らせてしまうため、盆地内部には乾燥した空気が流れ込み、降水量が少なくなります。また、海から離れているため、温度が変化しにくい海水の影響を受けにくく、地面の温度変化が直接気温に反映されるため、気温の変動（気温差）が大きくなります。